



住みよい町づくりへ
議会と住民をつなぐ

第**43**号

平成21年10月21日

河津町議会だより



東小学校の運動会開会式

主な内容

- 平成21年第3回定例会（要旨）…………… 2～3 P
- 町長の行政報告…………… 4～5 P
- 一般質問…………… 6～8 P
- 一部事務組合議会報告…………… 9 P
- 議長の主な活動報告 他…………… 10 P

平成21年 第3回定例会 (要旨)

平成21年第3回定例会は9月8日から17日まで開かれました。初日は町長の行政報告につづいて3名の一般質問が行われ、報告案件2件、人事案件1件、条例案件2件、合併協廃止案件1件、契約案件1件の審議、2日目からは21年度補正予算5件、20年度決算認定10件、発議1件の各議案が審議されました。決算10議案は決算審査特別委員会に付託され、審査の結果、意見書を附帯し認定。他の議案は原案通り可決、承認、採択されました。

可決された補正予算、その他

人権擁護委員の推薦

河津町浜21番地の1
岩崎幸夫氏(留任)に同意

条例の一部改正

河津町税条例の個人住民税の寄付金税制の拡充と河津町国民健康保険条例の出産育児一時金についての一部を改正した。

合併協廃止案件

南伊豆地区1市3町合併協議会を平成21年10月8日をもって廃止する事を決議した。

契約案件

平成20年度河津町地上デジタル放送設備整備工事を随意契約に付し、古河電気工業(株)【東京都千代田区】と79,800千円で契約。

平成21年度 河津町一般会計補正予算 (第2号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ276,147千円を追加し、総額をそれぞれ3,974,842千円とする。

平成21年度 河津町国民健康保険特別会計 補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ25,615千円を追加し、総額をそれぞれ1,278,026千円とする。

平成21年度 河津町老人保健特別会計 補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2,877千円を追加し、

総額をそれぞれ27,365千円とする。

平成21年度 河津町介護保険特別会計 補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ8,712千円を追加し、総額をそれぞれ679,548千円とする。

平成21年度 河津町国民宿舎「かわづ」 運営事業特別会計補正予算 (第1号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ840千円を追加し、総額をそれぞれ10,823千円とする。

議員発議

◇発議第3号

河津町議会議員定数及び報酬等調査特別委員会の設置について

河津町議会の議員定数が前回選挙より、それまでの14名から12名に、平成18年4月1日から議員報酬が約10パーセント削減され現在に至っているが、再度特別委員会を設置し調査、協議をする。

決算審査特別委員会

決算10議案を審査、認定

平成20年度決算10議案(河津町一般会計、河津駅前広場整備事業特別会計、河津町土地取得特別会計、河津町国民健康保険特別会計、河津町老人保健特別会計、河津町介護保険特別会計、河津町国民宿舎「かわづ」運営事業特別会計、河津町後期高齢

者医療特別会計、河津町水道事業会計、河津町温泉事業会計)は、決算審査特別委員会(萩原清男委員長)に付託されました。総務課、窓口税務課、保健福祉課、議会事務局、産業振興課、建設課、教育委員会に関する事務及び農業委員会に関する事務

をそれぞれ決算審査にあたりました。

決算審査特別委員会は意見書を附帯して認定すべきものと決定しました。本会議上、萩原清男決算審査特別委員会委員長の報告を受け、全員賛成で認定されました。

平成20年度 決算審査特別委員会附帯意見書

1. 入湯税の未申告者が多く見受けられる。申告指導を強化し、収納を徹底されたい。
2. 合併処理浄化槽の普及は補助制度を周知させ、なお一層の啓蒙を図られたい。
3. 踊り子温泉会館、サンシップ今井浜、バガテル公園の運営は厳しく見受けられる。経営改善に向け抜本的な対策を考慮されたい。
4. 遺跡出土品は各種展示の機会を設け有効に活用されたい。
5. 水道・温泉事業会計の営業未収金が増加傾向にある。これらの徴収努力をされたい。
6. 決算審査特別委員会の意見書は毎年提出されているが意見書の成果が見られない。本意見を重く受け止め実行されたい。

第4回臨時会

8月17日に開かれた第4回臨時会は以下の議案を可決しました。

◇議案46号

河津町河津桜まつり露店営業管理条例の一部を改正する条例について

河津桜まつりにおける露店等の営業に関し、暴力団員による届出の禁止及び暴力団員が営業等に関与することを防ぐため条例を改正した。平成21年9月1日から施行する。

◇議案47号

平成20年度消防ポンプ自動車(第11分団)購入契約について

(株)島山ポンプ製作所(沼津市)と17,745千円で契約。

第3回定例会 町長の行政報告（抜粋）



●平成20年度決算について

普通会計の決算額は歳入42億2,573万6千円(対前年度比8.9%増)、歳出39億9,702万7千円(同比9.4%増)。歳入の町税については、固定資産税が5億3,250万8千円と1.2%増、町民税がマイナス2.1%の679万3千円の減、全体では前年比0.5%減。使用料及び手数料の3,080万5千円の減は各施設の使用料減。財産収入8,594万5千円の減は、不動産売却収入の減。収入全体の増額は学校給食センター建設の補助金の増加が要因である。なお平成20年度も臨時財政対策債、1億3,766万7千円の借入を行う。

●南伊豆地区1市3町合併協議会について

合併協議会については去る6月10日に全協定26項目の調印を行ったが、同19日廃置分合他3議案が南伊豆町、松崎町で否決され断念された。当町では7月21日合併協議会の経緯や今後の町づくりの説明会を開催した。

●地域活性化経済危機対策臨時交付金について

経済対策臨時交付金として当町には、1億4,509万3千円が決定。「全国瞬時警報システムの整備」「消防ポンプ車の購入」「インフルエンザ対策」「地上デジタル対応テレビ」他教育環境整備

などの更新を計画。

●地上デジタル放送について

平成23年7月24日アナログ放送終了に伴い12月に町民説明会を開催予定。町ではJA農協有線テレビ網を梨本、長野、見高入谷地区へも拡張するため総務省の交付金事業により、古河電気工業(株)と随意契約請負金額7,980万円で仮契約、工事期間平成22年3月19日まで。

●第4次総合計画について

第3次河津町総合計画が来年度で終了、平成23年から第4次河津町総合計画がスタート、平成32年度までの今後10年間の町づくりの目標とプロセスを示す計画。

●津波避難訓練及び総合防災訓練について

7月4日地域住民の協力を得て、津波訓練を実施し、海水浴客99名が参加。9月1日には「総合防災訓練」を4,381名の参加実施。会場型訓練では中、高生徒を含む559名が参加実施した。

●消防ポンプ自動車購入について

消防第11分団消防ポンプ自動車を指名競争入札に付し、1,774万5千円で(株)畠山ポンプ製作所と契約した。

●戸籍の電算化事業について

明治4年に制定された、戸籍法の一部改正により、本年11月7日に電算化システムに移行、戸籍中の氏名に誤字が含まれている方には今後通知をします。

●国民健康保険制度について

出産育児一時金を38万円の支給額を、平成21年10月から平成23年3月までの間の出産に対し、42万円とする。原則として、直接医療機関へ支払う仕組みを予

定している。

●特定健康診査について

5月から8月にかけて健康診査を行う、40歳から74歳対象者、2,288人に対し受診者705人、75歳以上対象者1,333人に対し受診者368人。

●共立湊病院組合の新病院整備計画について

6月28日に「医療法人社団聖勝会」を指定管理者に選考した。8月12日組合議会全員協議会が開催された。8月17日臨時会が開催され指定管理者を聖勝会とする議案が議決された。最も重要な医師の確保等、バックアップに関しては、「支援病院に指定することは難しい」との考えが示された。今後は懸念される事項が多く協議会、委員会の作業状況を見ながら河津町は対応を判断したい。

●子育て支援対策について

医療費助成事業について、本町は6歳未満無料化、拡充策として、中学校卒業までの医療費の無料化を10月からの実施に向け準備に取り掛かっている。出産に関する助成事業については、出産施設が限定されほとんどが地域外での出産を余儀なくされ多大な費用を要するのが現状である。町がその一部を助成する制度の導入を考えている。

●環境美化推進事業について

町内に堆積した不法投棄物の除去作業、主として国道414号沿除去、期間として10月から3月まで、また「地域グリーンニューディール基金」活用で不法投棄散乱ごみの監視パトロールを10月より平成24年3月まで実施予定。

●農林水産関係事業について

7月5日に県アユ釣り大会が河津川で開催され、宿泊者、応援者等で600人を超す大会となった。森林整備関係では、交付金による間伐事業や風倒木等の調査業務で平成22年までの2年間の事業。また新嘗祭献上米の抜穂式を9月2日実施した。

●夏の観光状況について

海水浴場の入り込みは、今井浜で49,113人、河津浜で4,246人、町内7月8月の宿泊者数は52,766人、また4月から8月末のパガテル公園入園者数は、54,575人、踊り子温泉会館が31,832人、サンシップ今井浜が14,609人。

●観光交流館整備事業について

(仮称)河津町観光交流館は、運営主体として観光協会を予定している。地場産品については農業経営振興会と調整している。来年の河津桜まつりには本格稼働予定。

●観光トイレ整備事業について

臨時交付金事業で田中来の宮神社に観光トイレが計画どおり供用開始予定。

●河津桜まつり露店等営業管理に関する協定書について

8月28日条例に基づき、下田警察署長と河津町が河津桜まつりにおける暴力団員介入の防止を、町と下田警察署が築くものである。

●農業関係事業について

県単治山事業は7月23日に2件の入札をし、見高大ミヨ治山工事は鉄製フトンかご工等で、山内組が4,200千円で落札し契約した。また浜片瀬山治山工事はリングネット防護柵、(株)大塩組が9,324千円で落札し契約した。8月26日に2件の入札をした。見高入谷地区の水路改修工事、山内組が2,730千円で落札契約。梨本地区の水路改修工事は、(株)

大塩組が4,504千円で落札、契約した。また県事業では基幹農道見高稲取4期地区工事は61,200千円で東海建設(株)施工予定。

●道路新設改良事業について

川横地区の町道奥原1号線は、本工事に着手し年度内には完成予定。町道萩ノ入2号線工事は4月30日に家屋調査業務委託の入札を行い(株)日測コンサルタントが1,680千円で落札、契約した。

●水道事業について

県事業の田中バイパス工事に伴って、歩道に135Mのポリエチレン管理設工事を4,147,500円で東海建設(株)が落札契約した。土地改良事業の基幹農道見高稲取4期地区工事に伴って596Mポリエチレン管理設工事を、15,309千円で東海建設(株)が落札、契約した。また川横地内341Mポリエチレン管理設工事は、33,600千円で(有)寺森工務店が落札、契約した。

●温泉事業について

浜地内の350tタンクが腐食により改築工事を行う。8月26日日東建設工業(株)が122,850千円で落札し、契約した。

●指定寄付について

42年間の長きにわたり西小学校の校医として、ご尽力された稲葉和也先生が6月7日に急逝されました。ご冥福をお祈りいたします。またご遺族から教育振興にと多額のご寄付をいただきました。

●教育委員会点検・評価について

法律の一部改正により教育委員会は、教育に関する業務の管理など学識経験者の知見を活用して点検・評価を行い議会に報告するとともに公表することになった。

●消防団操法大会について

6月14日東伊豆町で賀茂支部大会が開催、ポンプ車操法の部で11分団、小型ポンプの部が2

分団。小型ポンプ操法で2分団が優勝。

●7月23日に入札を実施した工事の進捗状況について

東小学校体育館通路改修工事は、2,341,500円で山内組と契約。南小学校校庭外周フェンス改修工事は、1,365千円で東海建設(株)と契約した。さくら幼稚園のフェンスも含む。河津中学校給水管布設替工事は、17,052千円で伊豆冷暖房工業(株)と契約。旧学校給食センター解体工事は、16,189,950円で(株)大塩組と契約し、後は駐車場として使用。

●定額給付金給付事業について

4月20日開始以降、8月末までに3,250世帯、1億2,899万6千円の支給。10月13日が締切日。

●建設工事等の発注状況について

国の経済危機対策においては「中小企業者に関する国等の契約の方針」地域を支える建設企業の受注機会確保。当町は、請負金額130万以上の工事、14件を発注した。

●公有財産台帳整備業務について

国の地方行革新指針により、現在の会計制度を企業会計手法とする公会計制度が本年度から実施、町では台帳整備業務を(株)日測コンサルタントに、603万7,500円で委託し、管理を推進した。



一般質問

人口の減少と高齢化対策は

町長—福祉・医療の充実と自然環境整備で

質問...現在、河津町の人口は約8,200人位と過疎化が進んでいる。人口の減少と、高齢化の現状と未来をどのように考えておられるか。

町長...現在の町の高齢化率は、32.8%で大変厳しい状況にある。6割近く交付税に依存している町にとっては、人口が減る事により、交付税も年々減少し、もっと厳しい経済環境になって行く。人口を増やす対策は必要であるが、現状では大変厳しい。

質問...第三次総合計画の若者にとって住みやすく、魅力的な町を築くための雇用対策及び、企業誘致についてどのように考えておられるか。

町長...企業誘致については、今の交通状況からして大きな産業となると非常に厳しい。これからは、観光、福祉、医療関係の充実が大きな柱となる。企業誘致についても、活性化のために、全身全霊を挙げて取り組む。

観光の現状と対策は

町長—静岡空港開港で、外国人観光客の誘客をはかる

質問...今年の夏の宿泊状況は、去年と比較して如何であったか。又、静岡空港の開港にともない外国人観光客の誘客方法はどうかされているのか。又その成果は。町長...町内の7月8月の宿泊状況は、52,766人で前年対比で98%であった。開港にともなう誘客については、台湾、韓国、中国、東南アジアのお客様に必ず伊豆地域に泊して頂くよう取り組んで行く。

産業振興課長...開港にともない東海岸地区の観光推進協議会が誘客対策を中心にやっている。誘客キャンペーンに当町からも同行する予定である。

質問...(株)バガテル公園の入り込み状況と国民宿舎の宿泊状況と財務内容は如何か。

町長...(株)バガテル公園の経営状況は、昨年より6~7%マイナスであるが、収支的には、経費その他の節約で去年よりはいい状況である。国民宿舎においては、5月までは昨年よりプラス

である。

質問...観光が町の基幹産業であると言われるが、現状は厳しく、雇用条件も決して良いとは思われません。どのように感じておられるか。又中学校跡地利



観光交流館建設進捗状況（10月2日現在）



飯田正臣 議員

用はどうかしているか。建設中の交流館の経過と運営方法は。

町長...交通網の充実と区画整理地内の生活環境が良くなり若者の人口増につながって行く。今後は安定した高度医療が受けられるような施策に積極的に取り組み、来遊客や定住人口を増やして行きたい。中学校跡地利用については、商工会が中心となり検討中である。

産業振興課長...交流館については観光協会に指定管理をお願いする予定であり、協会からも同意を得ている。今後は、内容をつめて、12月の定例議会に指定管理を審議して頂く予定。

市町合併の破綻した原因は

町長—一部の町の議会の同意が得られなかった

質問...合併不調の原因は、各市町長は責任を感じているのか。町長...1市3町の合併では各首長が努力したが、2町の議会の同意が得られなかった。責任うんぬんは努力が足りなかった、私としては誠に申し訳なく思っている。

質問...合併の市町間の調印を議会の同意なしに調印式を実施し

上地区の無医療地区の解消は

町長—11月を目標に開業できるように努力

質問...上地区の医療が受診できなくなったので、この地域へ診療所など設置は。又、一部事務組合の共立湊病院建設は1市5町の首長の考え方が一つになっていないようだが、早期開業と高度医療を受けられるよう希望しているが。

町長...上地区の無医療は深刻だ、通院費が薬代より高額のように、旧稲葉医院の施設をお借りして11月開業を目指し努力している。一部事務組合の共立湊病院は1市5町の首長の考え方が異なっているが建設が進められている。



セイタカアワダチ草に占領された畑、もとの畑に戻ることはできるのか...

た責任は負わなければならない、又、合併の破綻の説明会を開催したが、公報を通じて説明すべきではなかったか、今後は合併に向け広域連合事務組合の設立調査し、将来合併に向けたムード作りが必要では。

町長...1市3町の合併は特例法によるものだが当町の議会は議決された。広域連合構想は首長間で話し合っていない。

5年前より早期開業に向け取り組んできたが、新たな指定管理を受ける聖勝会の運営が当初計画の150床+療養感染4床を135床、療養病床0人や、医師、看護師の確保、資金面など不透明な点が多く、納得できないので、その場合、名前は貸すが、一筆取らないと加わってはいかない。質問...各市町長の意見を統一して進んでほしい。

遊休農地の活用は

町長—高齢化、後継者不足で大変である

質問...83haの遊休農地があり後継者不足と高齢化が進んでいる。農業従事者数は観光関係者より



土屋桑太郎 議員

多い。各産業経済は異なるが有害鳥獣被害も多く、農業振興や生産指導など総合的な対策は。

町長...町の産業はおよそ230億円で、サービス業190億、1次産業7億、建設業20数億円で、農業荒廃地83haもある中、250ha程度耕作されている。観光交流館を利用した、町、農協、農業振興会、営農会とで、活力ある政策をと努力してほしい。又、遊休農地は農協と一つになり対策を取組みたい。

質問...農業振興が大事だ、限界集落にも達する安全、安心な地域づくりで、農業総合政策指導を。

少子化対策で児童会館を

町長—小学校統合なら検討する

質問...町の観光施設は出来たので文化施設が大切だ。少子化対策には児童会館の建設は。

町長...子供の遊んでる姿が見られない中、学区ごと、東小、西小、南小への建設は無理である。統合ともなれば教育委員会とも協議し建設の方向を見定めたい。質問...町の中心地に建設することにより、将来学校統合の意見も出るのでは。互いに利用しあい父兄、子供の交流の場に深めたら。

共立湊病院の今後の方向性は

町長－協議会、委員会の状況を見ながら

質問...現在の指定管理者である地域医療振興協会との契約が終了する、平成23年3月末日までに、移転新築し、開院にこぎつける事ができるか。

町長...今後は、医師の確保以外にも懸念される事項である。運転資金の確保や、医師会の意向確認などについて、選定法人及び、病院組合から早急に確かな回答を得たいと考えている。

質問...新病院の指定管理の選定について、下田に新築移転を求めた地域医療振興協会が、公募

に応じなかったり、委員の中から公募に応じた2社の経営に対する疑問を指摘する中、又各首長の意見が異なり、組合議会で議決選定されたわけで、町長のお考えは。

町長...今後の病院組合の対応や、新たな協議会や、委員会の検討状況等を見ながら、長年順調にやって来た一部事務組合の流れにのっとったものかどうか、確認した上で、河津町としての対応を示したい。

上河津地区の医院の開設は

町長－今年11月を目途に

質問...地域医療の先駆者として長年上河津地区で、御尽力されて来た稲葉先生が亡くなられ、上河津地区から医院がなくなった。毎日のように各地で医師不足がマスコミ等で報道されている中、地域住民の安心、安全で快適な生活を送るために、町長は、今後どのように対応されるか。

町長...上河津地区の医療については、深刻に考えている。先日、先生の家族と会い、施設を貸してほしいと話したところ、使っ

てよいとの心づよい返事だった。町立病院か、派遣診療所か、慎重に検討している。今年11月頃を目途に、何とか地域住民の希望にかなうべく努力をして行く。

今後の町づくりは

町長－協働の精神で

質問...南伊豆地区1市3町の合併が不調に終り、財政事情、少子高齢化が重くのしかかる中、単独での自治体運営をどのような形で運営されるか。



稲葉 静 議員

町長...少子高齢化が進んでいる。高齢化率も現在32.3%だが、11年後には40%台になると予想される。本町の財政も働く世代の減少で厳しさがました、一方で行革で職員数もスリム化して来た。ハード事業も学校の耐震化、給食センターを含め社会資本整備ができた。経済情勢は厳しいが協働の精神で町おこしをして行く。

質問...何年か後に、大きな枠組、もしくは隣町を考えた合併を目ざすお考えは。

町長...伊豆一帯を含め、盛り上がるかどうか、今後の課題、国も民主党政権になってどんな考えになるか、隣町との合併は、現在広域で大変いい交流になっている、合併については話し合った事はない。

質問...先日の選挙の結果、国も県も変り、今までのように補助金等あてにできないような観もするが、町長はどのような対応をされるか。

町長...政権が変り、どんな施策が打ち出されるか、要は地域を活性化させる施策をお願いしたい。何もかも国、県にと言う事でなく、町もできるだけ汗をかくて、町も県も国も一体になって行くと言う原点が必要である。限られた財源で最大の効果を上げる事を前提に町づくりをやって行く。



共立湊病院

一部事務組合議会報告

下田地区 消防組合議会

8月25日に定例会が開かれた。平成21年2月1日から7月31日までの事業報告があり、火災発生件数は8件で前年比7件の減、損害額は調査中1件を除き6,841千円となった。発生地区別では下田市4件、南伊豆町3件、河津町1件。救急出動は1,201件で搬送人員は1,123人を搬送。本署751件、河津分署209件、南伊豆分署241件。ドクターヘリは59件の要請、58人が搬送された。予防業務については下田市104件、河津町67件、南伊豆町100件の宿泊施設の立入検査を実施。議案は平成20年度消防組合会計繰越明許費計算書の説明、専決処分承認。平成20年度決算認定、歳入724,297,623円、歳出684,655,501円。その他平成21年度補正予算1件を可決。この補正により独居老人の緊急通報システムについて老朽化した本署受信システムを取替えることになった。



共立湊病院 議会報告

●経過報告

8月17日臨時議事に於て、平成23年4月より指定管理者を聖勝会に決定した。8月24日、下田南校跡地を病院建設予定地として18,979.67㎡を5億209万202円で県より買い受けた。

●8月定例会

8月31日開かれた定例会は管理者南伊豆町長鈴木史鶴哉氏の諸般の報告。入院患者数4万64人(1日平均109.8人)で前年対比2,688人の減。外来患者数8万1,715人(1日平均278.9人)で前年対比7,814人の減。市町別では下田市と南伊豆町で入院3万1,590人で78.8%、外来で7万1,174人で87.1%を占めている。

一般質問は南伊豆町の横嶋議員が共立湊病院職員の雇用確保についての質問の後、平成20年度共立湊病院組合病院事業会計決算、平成20年度共立湊病院組合介護老人保健施設事業特別会計歳入歳出決算をそれぞれ認定して閉会した。

終了後全員協議会を開催し、①県有財産売買契約について(報告)②新病院建設設計施工プロポーザル競技審査委員会の

設置について(報告)③共立湊病院組合新病院移行協議会の設置について(報告)を受けた後閉会した。

河津町の年度別負担金、出資金の見積り予定額は次の通り。病床分、元利償還分、救急病床分、救急基礎分を合算したものの平成23年754万9千円、平成24年から26年まで935万2千円、平成27年1,012万1千円、平成28年から32年まで881万5千円、となる予定。平成17年～平成19年の入院通院利用割合に基づくもの。

伊豆斎場組合

8月25日、伊豆斎場組合の8月定例会が下田市の南豆プラント組合事務所で開催された。東伊豆町議会の斎場組合議員が改選され、山本鉄太郎、西村弘佐両議員の議席指定が行われた。管理者石井直樹下田市長の行政報告が行われ、現在修繕中の3号火葬炉は、21年度で終るとの報告があった。

議事として、認第1号平成20年度伊豆斎場組合会計決算認定審議を行い、歳入決算額36,866,275円、歳出決算額36,181,395円、差引残額704,880円の決算を認定した。歳入の主たるものは、1市3町負担金28,003千円、使用料5,984千円、また建設基金1,000千円を繰り入れた。専決第1号として平成21年度補正予算(第1号)で426千円を減額、議案第3号として平成21年補正予算(第2号)で96千円を減額した。



相馬宏行議長

議長の諸般の報告と議会の動き

- 6月5日 国道414号整備促進期成同盟会総会に出席（沼津市）
- 6月9日～15日 フランスパリ市、バガテル公園国際パラコンクールに出席（町長及び町民参加者と）
- 6月19日 河津町議会第3回臨時会を開催
- 6月23日 観光交流館建設工事安全祈願祭に議員と共に出席、同日南伊豆地区1市3町合併協議会に出席（河津町役場・飯田議員と）
- 6月30日 河津町夏季対策連絡協議会に出席（役場）
- 7月3日 議会広報編集委員会に出席（役場）
同日、国民文化祭実行委員会に出席（文化の家・第2常任委員長と）
- 7月4日 第56回静岡県鮎友釣選手権大会前夜祭に議員と共に出席（バガテル公園）
- 7月5日 第56回静岡県鮎友釣選手権大会開会式及び表彰式に出席（峰、峰泉園地）
- 7月8日 静岡県議会総務委員

- 会による峰大噴湯視察に対応
- 7月10日 夏の交通安全運動街頭広報に参加（湯ヶ野地区）
- 7月14日 議員説明会を開催
- 7月16日 河津町合併推進協議会に出席（役場・飯田議員と）
- 7月17日 今井浜海水浴場海開きに議員と共に出席
- 7月22日 平成21年度6月分例月出納検査結果の報告を受ける
- 7月27日 東駿河湾環状道路開通式に出席（沼津市）
同日、賀茂郡議会議長会に出席（下田市）
- 8月17日 河津町議会第4回臨時会を開催

- 8月18日 平成20年度河津町一般会計・特別会計決算審査意見書、財政援助団体監査報告書、財政健全化法に基づく意見書を受ける。
同日、平成20年度公営企業会計決算意見書を受ける
- 8月19日 国土交通省本省への要望活動に参加
- 8月24日 静岡県市町議会議員研修会に参加（静岡市・議員と共に）
- 8月27日 国道414号整備促進期成同盟会要望活動に参加（静岡市）
- 9月3日 議会運営委員会に出席（役場）

～私も一言～

人口僅か8千余、県下2番目の少人口河津町は、過疎化が進み限界集落になりかねない地区も出ています。若者の多くは町外へ流出し、労働人口の減少は町の将来に不安を与えています。私は先祖代々引き継がれた農地を守り細々農業を営んでいます。農業の果たす役割は農産物を作るだけでなく自然環境保全など、多面的役割を果たしています。農山村の原風景は慌ただしく生きる人々の疲れを癒し、シルバー世代や若い人の間にも今や農業への関心が高まっています。農村集落の維持は、今日

町の未来、今私に出来ることは

では忘れかけている住民の助け合い連帯感で成り立っています。地区の行く末に不安を抱きながらも、還暦を迎える歳になる私に出来ることは、農業を通じ地区の皆さんと助け合いながら子や孫がいつでも帰れる美しい故郷を守り続ける一員として、頑張ることだと思っています。

私事ですが、10月29日皇居で行われる新嘗祭に、大変名誉ある献穀者にご推薦頂き、おこがましく思いましたが、地域の明るい話題の一つになればと思いお引き受けいたしました。

上佐ヶ野 土屋 茂

編集後記

我々議員も任期最後の一年を迎える。河津町にとって、最重要課題であった、1市3町の合併協議も昨年6月から数十回の協議を重ねたが白紙となり、単独の町づくりのスタートとなった。山積する諸問題を多くかかえ議員一同この現実をしっかりとらえ、10年20年先の河津をどうすれば良いのか、真剣に取り組む課題である。

（稲葉）